

桐生商工会議所管内
景況調査報告書

第137回

(2022年4～6月期)

令和4年8月

桐生商工会議所
桐生中小企業相談所

調 査 要 領

1. 調査目的 本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。

2. 調査時点 2022年6月1日

3. 調査期間 2022年4～6月期

4. 調査対象企業数 380企業（うち回答企業数147企業）

5. 調査対象業種
 - ①建設業（回答企業数24企業）
建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他

 - ②商業・サービス業（回答企業数65企業）
卸売業、小売業、飲食業、サービス業

 - ③製造業
機械金属関連業（回答企業数32企業）
鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他

繊維工業（回答企業数26企業）
撚糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

DIとは、ディフュージョン・インデックス（D i f f u s i o n I n d e x）の略で、このDIの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。このDIは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。DIについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。

1. 景況の動き

【業況DI】

今期の業況DIは、全体で**-26**。前期（-30）比は+4ポイントとなった。また前年同期（-21）比では-5ポイントとなった。

業種別では、**建設業-43**（前期比-47、前年同期比-37）、**商業・サービス業-40**（前期比+16、前年同期比-5）、**機械金属製造業-7**（前期比-4、前年同期比-25）、**繊維製造業+4**（前期比+30、前年同期比+44）となっている。

【採算DI】

今期の採算DIは全体で**-38**。前期（-39）比は+1ポイント、前年同期（-24）では-14ポイントとなった。

業種別では、**建設業-52**（前期比-9、前年同期比-33）、**商業・サービス業-54**（前期比+5、前年同期比-15）、**機械金属製造業-14**（前期比-10、前年同期比-30）、**繊維製造業-12**（前期比+10、前年同期比+26）となっている。

【来期業況DI】

来期の業況予測DIは全体で**-18**。前期（-19）比では+1ポイント、前年同期（-20）比では+2ポイントとなった。

業種別では**建設業-35ポイント**（前期比-25、前年同期比+7）、**商業・サービス業-26ポイント**（前期比+6、前年同期比-2）、**機械金属製造業+4ポイント**（前期比-12、前年同期比-11）、**繊維製造業-5ポイント**（前期比+27、前年同期比+35）となっている。

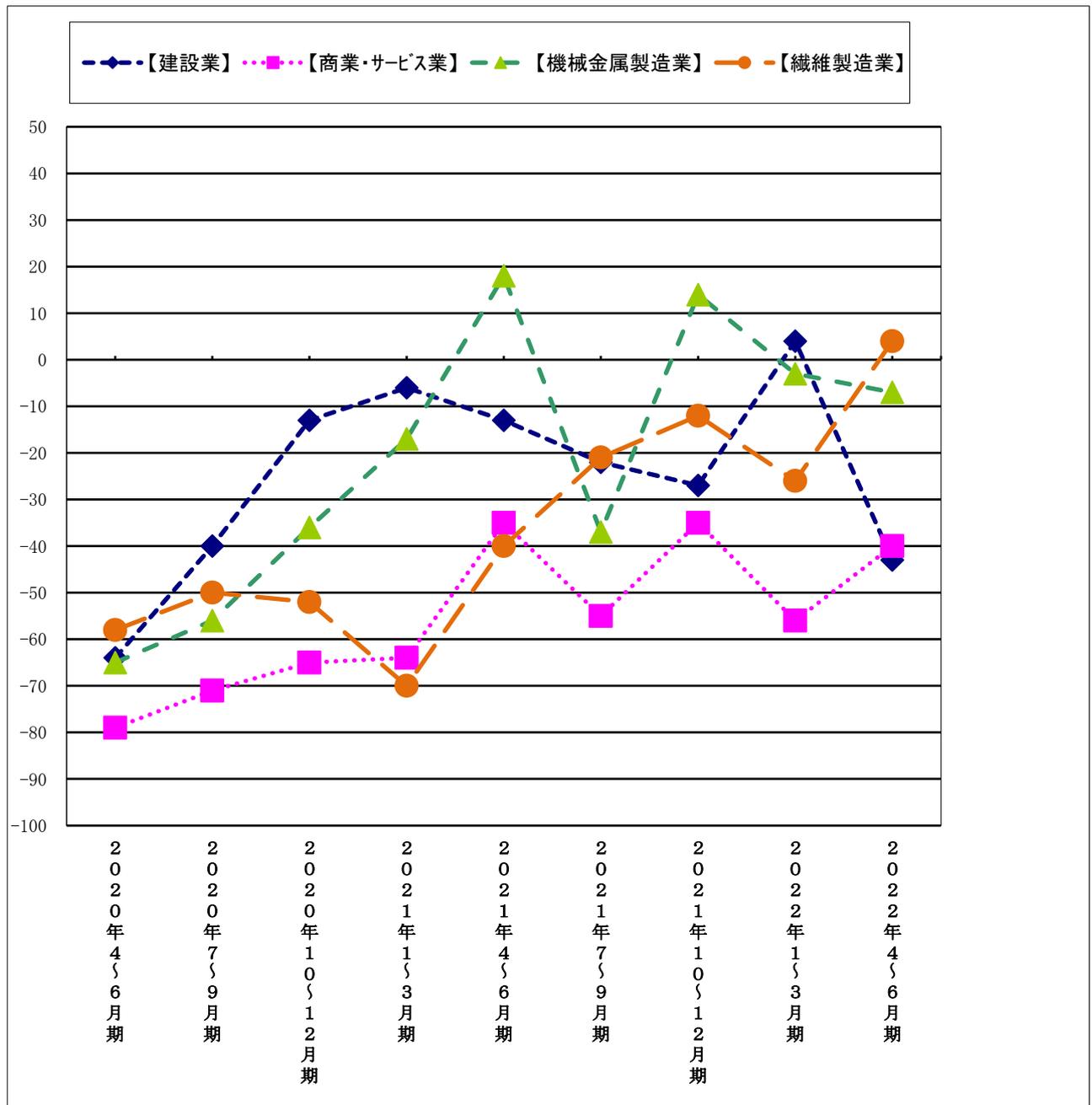
【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「材料価格の上昇」（26.3%）「材料の入手難」（15.8%）、**商業・サービス業**では「材料等仕入単価の上昇」（18.3%）「需要の停滞」（15.0%）、**機械金属製造業**では「原材料価格の上昇」（20.5%）「製品単価の低下・上昇難」（15.9%）、**繊維製造業**では「原材料価格の上昇」（27.0%）「需要の停滞」（17.6%）が上位となっている。

業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2020年4～6月期	-64	-79	-65	-58
2020年7～9月期	-40	-71	-56	-50
2020年10～12月期	-13	-65	-36	-52
2021年1～3月期	-6	-64	-17	-70
2021年4～6月期	-13	-35	18	-40
2021年7～9月期	-22	-55	-37	-21
2021年10～12月期	-27	-35	14	-12
2022年1～3月期	4	-56	-3	-26
2022年4～6月期	-43	-40	-7	4

[2020年4～6月期] から [2022年4～6月期]



2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

【建設業】

●今期業況 **今期の業況DIは-43**。前期比は-47、前年同期比では-37ポイントとなった。

業種別では**建築・大工業** [-71]、**土木業** [-25]、**管工事業** [+50]、**鉄骨・鉄筋業** [±0]、**電気工事業** [-67]、**その他** [-50]ポイントとなった。

●来期業況 **来期業況予測のDIは-35**。前期比-25、前年同期比では+7ポイントとなっている。

【商業・サービス業】

●今期業況 **今期の業況DIは-40**。前期比は+16、前年同期比では-5ポイントとなった。

業種別では、**卸売業** [-100]、**小売業** [-50]、**飲食業** [-20]、**サービス業**では [-32]ポイントとなった。

●来期業況 **来期業況予測のDIは-26**。前期比+6、前年同期比では-2ポイントとなっている。

【機械金属製造業】

●今期業況 **今期の業況DIは-7**。前期比では-4、前年同期比では-25ポイントとなった。

業種別では、**鉄鋼業** [±0]、**非鉄金属業** [±0]、**金属製品業** [±0]、**一般機械器具業** [-75]、**電気機械器具業** [±0]、**輸送用機械器具業** [±0]、**精密機械器具業** [±0]、**プラスチック製造業** [+29]、**その他** [-50]ポイントとなった。

●来期業況 **来期業況予測のDIは+4**。前期比-12、前年同期比-11ポイントとなっている。

【繊維製造業】

●今期業況 **今期の業況DIは+4**。前期比では+30、前年同期比では+44ポイントとなった。

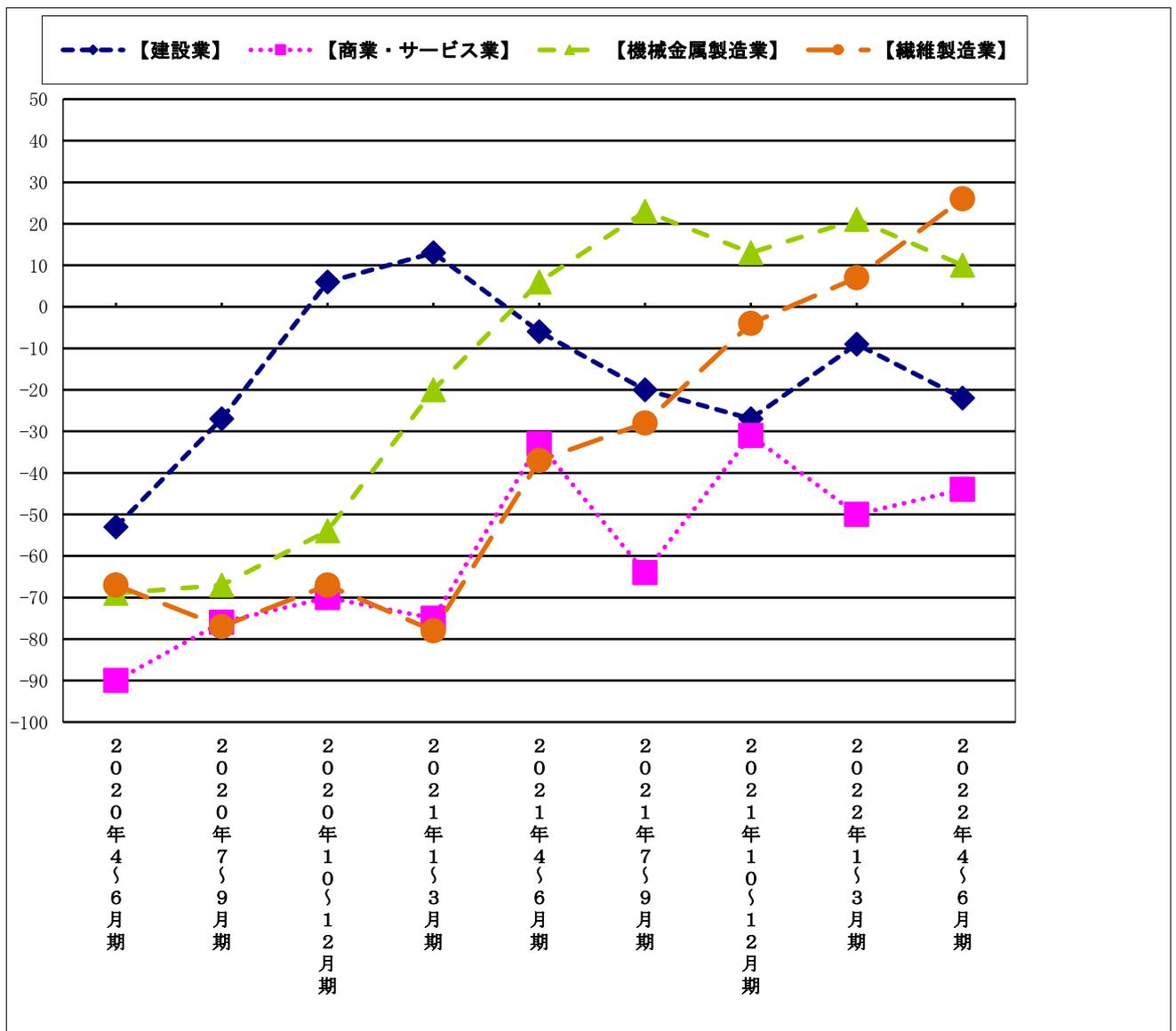
業種別では、**織物業** [+8]、**染色整理業** [-25]、**ニット・メリヤス業** [-50]、**レース業** [±0]、**縫製業** [±0]、**刺繍業** [+33]ポイントとなった。

●来期業況 **来期業況予測のDIは-5**。前期比+27、前年同期比では+35ポイントとなっている。

売上額（完成工事額）DIの推移

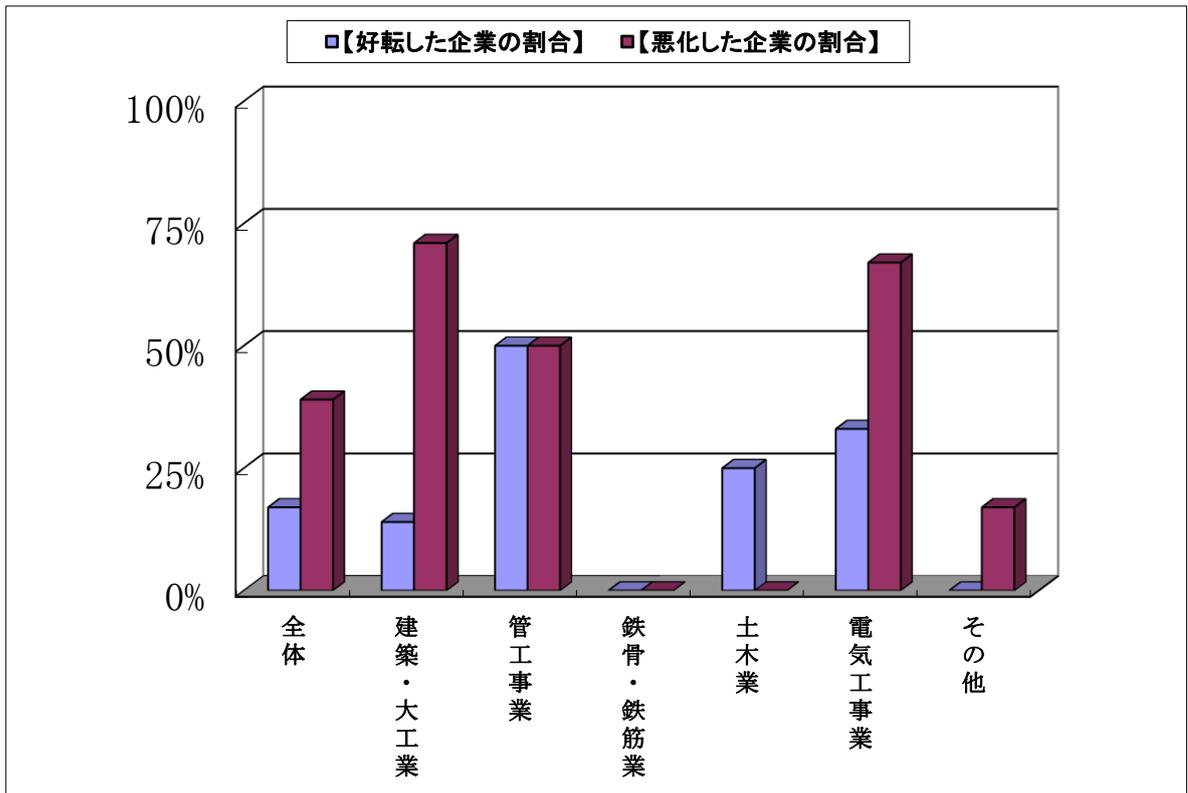
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2020年4～6月期	-53	-90	-69	-67
2020年7～9月期	-27	-76	-67	-77
2020年10～12月期	6	-70	-54	-67
2021年1～3月期	13	-75	-20	-78
2021年4～6月期	-6	-33	6	-37
2021年7～9月期	-20	-64	23	-28
2021年10～12月期	-27	-31	13	-4
2022年1～3月期	-9	-50	21	7
2022年4～6月期	-22	-44	10	26

[2020年4～6月期] から [2022年4～6月期]

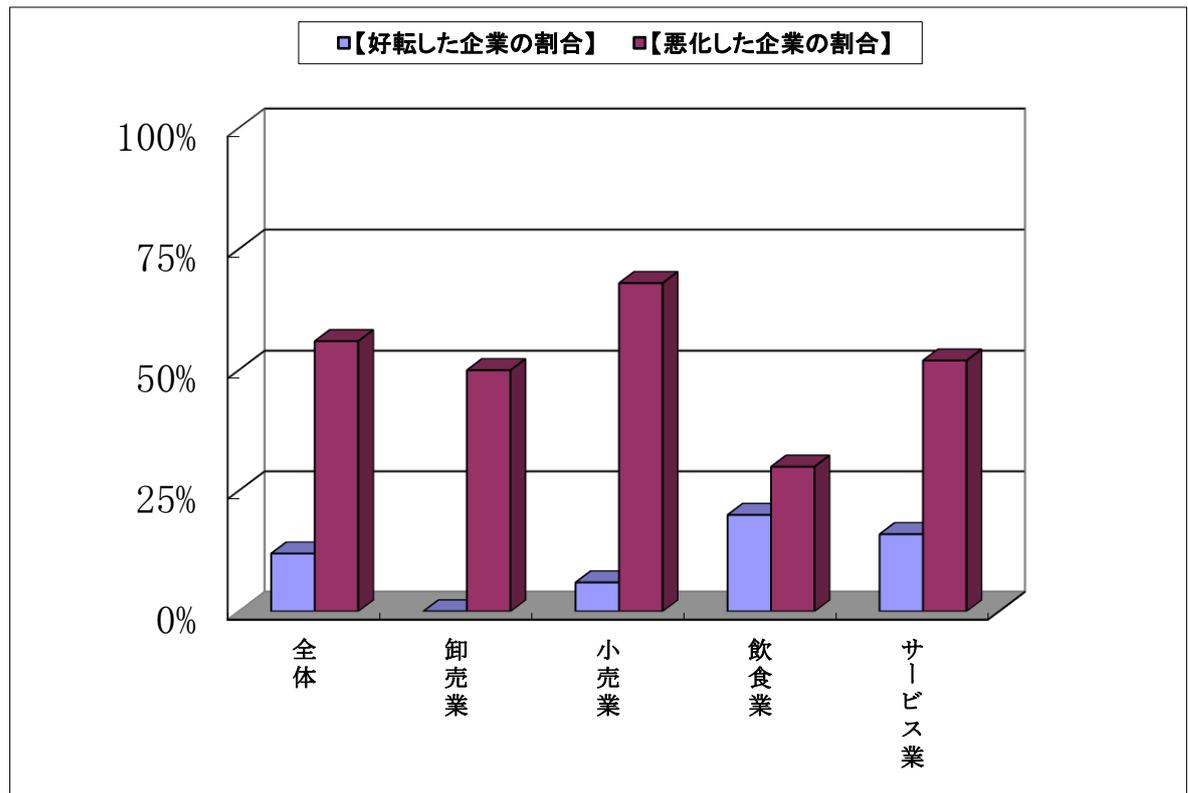


業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

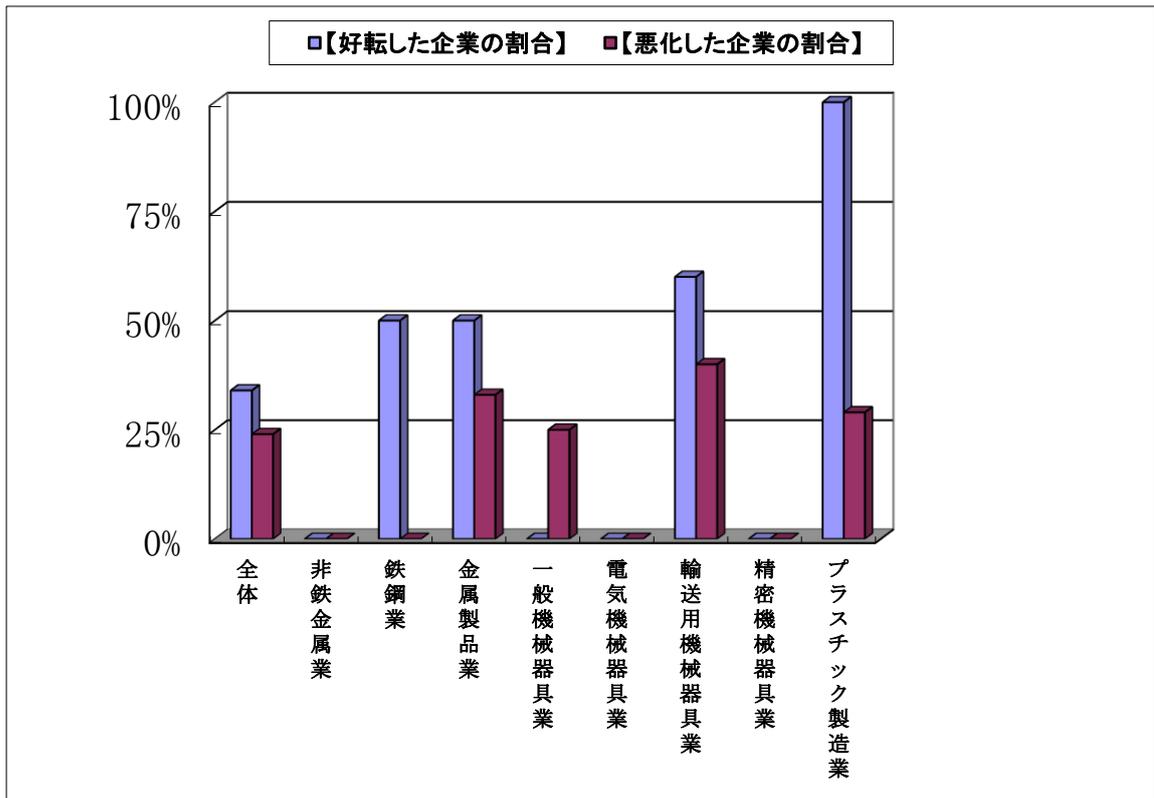
【建設業】



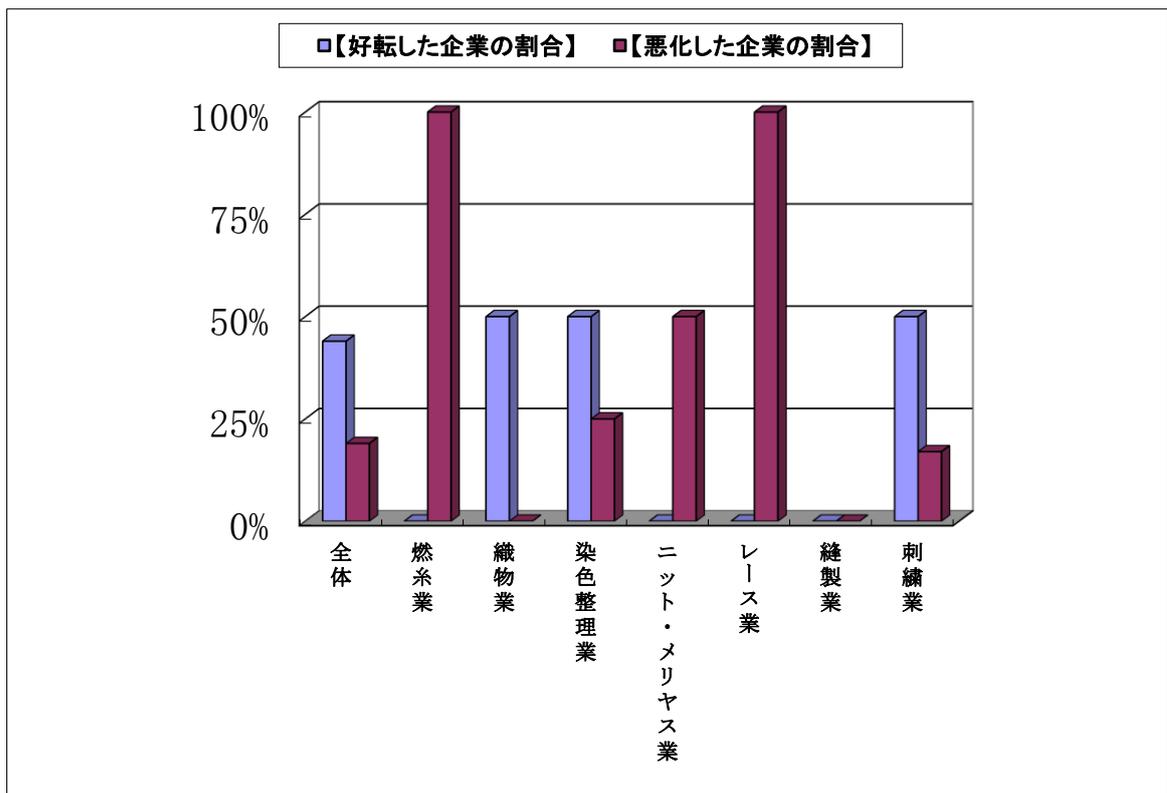
【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



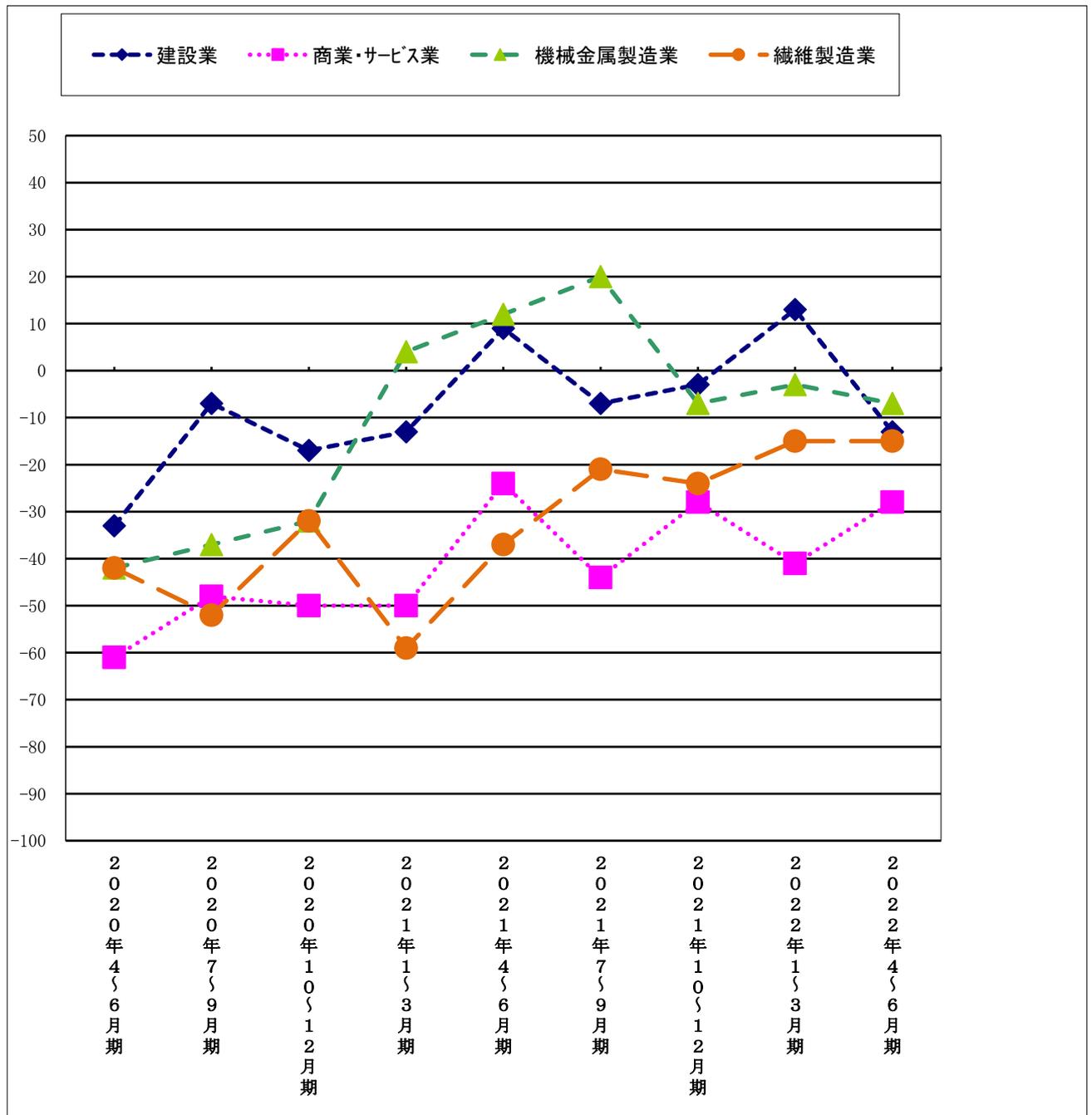
【繊維製造業】



資金繰りDIの推移

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
2020年4～6月期	-33	-61	-42	-42
2020年7～9月期	-7	-48	-37	-52
2020年10～12月期	-17	-50	-32	-32
2021年1～3月期	-13	-50	4	-59
2021年4～6月期	9	-24	12	-37
2021年7～9月期	-7	-44	20	-21
2021年10～12月期	-3	-28	-7	-24
2022年1～3月期	13	-41	-3	-15
2022年4～6月期	-13	-28	-7	-15

[2020年4～6月期] から [2022年4～6月期]



今期直面している経営上の問題点

	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
建設業	材料価格の上昇 26.3	材料の入手難 15.8	従業員の確保難 14.0	民間需要の停滞 10.5	熟練技術者の確保難 10.5
前期	1位 20	2位 16.7	4位 13.3	3位 15.0	5位 8.3
前年同期	2位 19.3	8位 4.8	5位 8.4	1位 24.1	3位 13.3
商業・サービス業	材料等仕入単価の上昇 18.3	需要の停滞 15.0	消費者ニーズの変化への対応 12.2	購買力の他地域への流出 6.7	従業員の確保難 6.7
前期	1位 16.5	1位 16.5	3位 14.6	4位 7.3	5位 6.1
前年同期	8位 4.9	1位 20.5	2位 14.1	3位 8.6	3位 8.6
機械金属製造業	原材料価格の上昇 20.5	製品単価の低下・上昇難 15.9	従業員の確保難 11.6	需要の停滞 10.2	原材料費・人件費以外の経費の増加 10.2
前期	1位 23.3	2位 11.6	3位 11.6	4位 9.3	7位 5.8
前年同期	2位 13.8	3位 12.8	5位 8.5	1位 14.9	8位 5.3
繊維工業製造業	原材料価格の上昇 27.0	需要の停滞 17.6	製品単価の低下・上昇難 10.8	製品ニーズの変化への対応 9.5	生産設備の不足・老朽化 6.8
前期	1位 21.3	1位 21.3	3位 12.0	6位 5.3	5位 6.7
前年同期	3位 8.3	1位 28.6	3位 8.3	2位 10.7	6位 7.1

事業所からのコメント（直面している問題点など）

〔建設業〕

- ・材料価格の高騰にて原価が上がり吸収できない状況である。また、材料の納期が未定となっている品物が多く、売上がスライドしているのも懸念される事項として挙げられる。それに伴い顧客が購買意欲低下により発注を控える傾向となっている。
- ・一般企業の活気がないせいか民間需要の工事が停滞している。今のところ管工事発注は平年並みとなる。
- ・材料価格上昇、納期遅れがこれほど長期化するとは思ってもみませんでした。販売価格に転嫁しきれず採算面に影響が出ています。
- ・材料の入手難よりも納期遅れや納期未定が多い、さらに単価引き上げで採算の悪化と人的資源の効率的運用ができない。

〔商業・サービス業〕

- ・コロナによる影響で得意先の出入りが制限される。通常流通する商品がアジア諸国から入荷しない。
- ・円安と諸事情が重なり原材料等及び運賃等の諸経費がすべて上昇傾向にあり、値上げ前に仕入を増やしている状況です。
- ・徐々に宴会などが戻ってきている。今後のコロナの状況によりまだまだ油断できない。仕入価格上昇はかなりきつい。
- ・材料等仕入単価の上昇により価格をどうするか。
- ・すごいスピードと回数で原材料の上昇が発生している。
- ・受注に大きな波があり不安な状況が続いている。
- ・街としては少しずつ店舗の増加等変化が出てきている。コロナ渦3年目となるがイベント等も増えてきている。若い人たちが積極的に動いており少しずつ明るい兆しがみえてきたような気がする。もうすぐ国産ワクチンや薬もできるので期待している。ロシアのウクライナ侵攻もやがて決着がつくと思うので今後の状況を注視していきたい。
- ・原油や電気、ガス、生活用品が高く商売が大変。
- ・近くに同業店も多くお客様共々老化していますので客足がどんどん少なくなってきました。
- ・イベント実施が早くできることを願う。

〔機械金属関連業〕

- ・半導体・部品の入荷が悪く受注があっても生産できない。

〔繊維工業〕

- ・コロナ・不況等現実に直面し三年近くになり個店・ギャラリーへの訪問者が少なくなり、またイベント等もなく大変な状況と考える。
- ・新製品開発の際、デザイン不足と物をつくる熟練者、原材料の入手難がある。